

企業発表

太田・清水

テーマ 1 北海道企業の「SDGs」への関心度 取組度

- ・ 行動は2019年がピークだったのでは？
- ・ 最近では話題に上がらない セミナーなどで取り上げる例も見ない
- ・ 取り組んでいる会社は極少数（大企業・中堅企業が主）
- ・ 4月に行われるG7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合にも関心が見られない
- ・ しかし 上場会社は株主よりSDGsへの取組を重要視されている
- ・ 「既に取り組んでいる」「取り組む意思がある」SDGsに積極的な企業の合計は19%（全国：24.4%）。
- ・ 規模別に見た積極的な企業の割合は、大企業29%（全国：34.9%）、中小企業16%（全国：22.1%）、小規模企業12%（全国：19.0%）。

テーマ 2


企業の関心は今どこに・・・？

- 物価高・原材料の値上がり・人件費の値上がり
- 人手不足
- 公共入札のための健康経営・CSR
- インボイス制度
- DX
- 社員教育

目先の課題優先

企業が長らく患う問題点

- 社員の健康 精神疾患の増加
- 非正規雇用が多く、正社員との格差
- 行政の加点制度による企業のひずみ (行政の問題)
心無い社会貢献活動など
- 従業員は働くことに必死で、地域活動や自己研鑽の余裕がない
社会問題への無関心
- 本質が理解されていないままの男女共同参画
- 個人の個性を重んじることなく、同一化させようとする古い風土



私たちはどのような企業を目指すのか。

- 社会の多様性に応じて変革し続ける 企業
- 社会や社会活動の循環の中で、自社の起つ位置を強く持つ企業
- 事業が社会課題の解決につながる取組を行う企業
- フェアな取引が常識の企業
- 社会の全ての人に向き合い、ダイバーシティ化 インクルーシブ化を図る企業
- 全ての人々の豊かさを追求し続ける企業
- 社会に出るまでに学んだり体験した「環境問題」「SDGs」「社会課題」への関心や意識や思考を社会人になっても、絶やさずに活かすことが出来る企業づくり、社会づくり

働く人々が社会課題、SDGsに関心と取組が持てる社会作りの原点は、企業の在り方にある